

富士中だより

八丈町立三根学園富士中学校 令和5年11月22日 第7号

ホームページ <http://www.hachijomachi-tyky.ed.jp/fuji-jhs/>

◇ 学校教育目標 ◇
自ら進んで学ぶ生徒
人や自然を愛する生徒
健康でねばり強い生徒
《校訓：自主・敬愛・根気》

～集中から分散～

校長

富士中三大大行事である運動会、八丈管内陸上記録会、合唱コンクールを終えるとともに、2学期もようやく終盤に入りました。コロナ感染症が五類となり、通常通りの形式が可能となりましたが、運動会では天候に悩まされ、合唱コンクールではインフルエンザの流行に悩まされました。とはいえ、度重なる変更にも生徒たちは臨機応変に対応し、達成感を得られる行事を実施することができました。合わせて、保護者の皆様にも迅速に対応していただいたことに深く感謝申し上げます。長い2学期を何とかバランス良く乗り切ってきていますが、中には疲れが抜けずエネルギーが不足して、次なる行動にスムーズに向かえない人たちも居たようです。頑張った後には疲れが残るのは当たり前です。慌てて行動を始めず、まずはしっかり休息をしてから次の行動を始めましょう。多くの皆さんが昨日から始まった期末考査に向けて集中できていると思いますが、タイムマネジメントを行いながら、心身ともに健康な状態にして何事にも取り組んでほしいです。テストが終われば2学期の終業式も間近です。楽しいことを考えるためのエネルギーはどんなときも確保しながら過ごしてください。

先日、ある研修会で新国立競技場などを設計した建築家の 氏の講演を聴く機会がありました。限られた時間でしたが「学びの空間～これからの学校環境～」というテーマでお話いただきました。人間社会では、20世紀の電話とエレベーターの発明、発展により、高層ビルの建設が実現し、ニューヨークから世界に広がりました。敷地を有効活用できたので、仕事場として、住居としても広がりました。ところが効率を優先しているため、身近に自然が存在しづらくなり、その結果、そこで生活する人々が多くのストレスを抱えるようになりました。ストレス社会から脱却するためにも不自然な集中を解き、自然がある場所へ分散することが大切だと考え、氏は2000年から木製建築物の設計に取り組みました。当然、地球温暖化対策も考えての取組でした。

2016年に着工した新国立競技場は、なるべく低い建物にしようと考えて設計されました。また、材料は環境を考え、47都道府県で産する木材を使用し、各都道府県の地理的位置（方角）に合わせて東西南北の然るべき所に配置されています。自然に合わせて風の通り道を考えることにより、空調設備が不要になったり、湿気対策にもなりました。樹木の多い周辺環境との調和も重視されています。自然と調和しているからこそ、競技場の周回コースを開放し、市民が気軽に足を運べる場所にしました。このようなコンセプトで隈研吾氏は、自然に還る建築を目指し、日本だけではなく、世界中に自然に調和した木造建築を広めています。

写真で観た数々の木製の学校は温かみが伝わるものでした。ご自身の母校の建物も3階建てのコンクリート製から2階建ての木製にし、空調費用が激減したそうです。教育環境にとって外的ストレスは厳禁です。学びに集中し、自然を感じられる環境の中で疲れを癒やせることは学習の意欲向上にもつながるでしょう。そう考えると、八丈の教育環境は身近に大自然を感じられ、溜まったストレスを取り除くことに適した環境と言えるでしょう。厳しい自然環境に対する耐久性の関係で木製の建物が理想とは限りませんが、校内の芝生や多くの植物は無意識のうちに生徒の心を癒やしているでしょう。ともすれば、ネット環境に没頭し、ストレスが溜まり、周りの豊かな自然に意識が向かなくなる生徒も居るでしょう。そんなときこそ、八丈の良さを知る保護者、地域の皆様や教職員で視野を広げる関わりができればと思います。ないものに憂うのではなく、あるものを有効利用して楽しく過ごせる学校づくりを進めていきます。

2学期期末考査

2学期期末考査が2日目まで終わりました。勤労感謝の日を挟んで、24日（金）が最終日になります。先週から今週の月曜日まで行っていた放課後の学習教室では、熱心に自習に取り組んでいる姿が多く見られました。学習教室以外でも自宅や友達の家で学習にそれぞれ取り組んでいます。1学期の期末考査と2学期の中間考査を経て、自分に合った学習の計画も立てられるようになった人も増えてきました。生徒たちはお互いに励まし合い、高め合いながら、自分の目標に向かって日々邁進しています。（担当： ）



エアロビクス



体力向上の活動の一環として、ふじしばにて「エアロビクス」に取り組みました。今年度もインストラクターとして さんにご指導いただきました。 さんのご指導のおかげで、ノリの良い音楽と共に、無意識に身体が動いてしまう、幸せな1時間を過ごしました。終わりには、落ち着いた音楽に合わせてクールダウンを行いました。動かした筋肉を緩めて、可動域の柔軟性を高めて、ケガを予防することの大切さを学ぶことができました。(担当:)



ちよんこめ作業所訪問

3年生は10月16日(月)の5・6時間目に「総合的な学習の時間」の活動として、ちよんこめ作業所を訪問しました。作業所ではまず、利用者の皆さん一人一人が自分の趣味や関心のあることをクイズの形式にして自己紹介してくださいました。富士中生は2つのグループに分かれてクイズの正解数を競い合うことに参加し、利用者さんと楽しい時間を過ごすことができました。

その後、作業の様子を見学させていただきました。手ぬぐいの絵付けや編物などの作業や、アルミ缶の仕分けやプレス作業を見学しました。利用者の皆さんが一生懸命に、そして真剣に作業をされている姿を目の当たりにし、理解を深めることができました。

ちよんこめの活動は作業所内での仕事の他に、島内の公共トイレの清掃や花壇の手入れなども行っていることを知り、感謝や協力する気持ちなど、色々な想いをもつことができました。

(担当:)



合唱コンクール

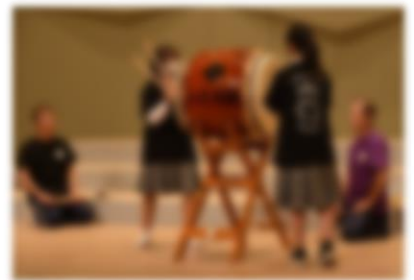
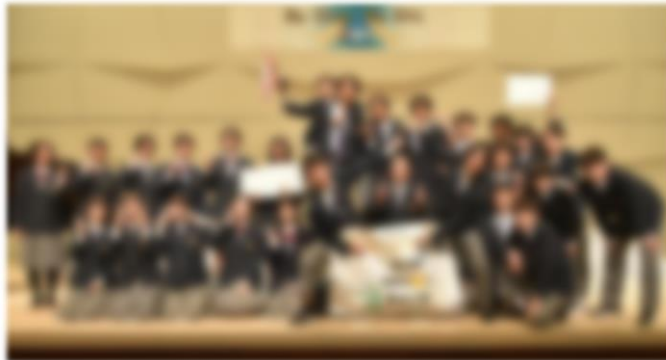


今年度も、合唱コンクールを11月4日（土）におじゃれホールにて無事に開催することができました。今年度は感染症関連の制限が特にありませんでしたが、1週間前にインフルエンザの罹患者が増えて学年閉鎖が出るなどの困難もありました。その中でどの学年も限られた期間での練習に一丸となって取り組み、表現豊かな歌声をホールに響かせました。

今年の各学年の合唱審査は、2・3年生がゴールド金賞、1年生が銀賞という結果になりました。3年生は男声女声のバランスが難しい中、主旋律が聴こえるように自分たちで工夫しながら練習を進め、3年間で培ってきた合唱に合った声で情感豊かに歌い上げました。2年生はバランスの良さが際立つ合唱で、まとまりのある美しいハーモニーを響かせました。1年生は惜しくも銀賞となりましたが、しっかりとした発声で息の合った合唱でした。どのクラスも練習期間に自分たちで考え、意見を出し合い話し合いながら練習に取り組み、当日の演奏では最も良い合唱を響かせることができました。学年ごとに基準が違い単純な比較はできませんが、それぞれの学年の持ち味が存分に発揮された合唱でした。

第2部では吹奏楽部、八丈太鼓、八丈混声合唱団の皆さんが出演し、コンクールに花を添えました。また審査発表後の最優秀クラス発表では、3年生がさらによい合唱で自由曲を響かせ、全校合唱では課題曲を全員でしっかりと歌いあげ、合唱の響きの余韻に浸りながらの終幕となりました。

今年のスローガンである「No sing No life. ～私たちの魂を込めて歌たち～」の通り、生徒一人一人が、魂を込めて歌い、歌の良さ、すばらしさを体現する合唱コンクールになりました。今回の経験を通して、生徒の皆さんがより豊かな表現力を身に付け、歌心あふれる豊かな生活を送ることにつながっていくことを期待しています。（担当： ）



合唱コンを終わって…

実行委員長

皆さん、合唱コンクールお疲れ様でした！！

今回の合唱コンクールは一日開催でした。初めての試みでバタバタしていたこともありましたが無事に開催できて良かったです。

感染症が流行っていたことなどもあり、3学年とも皆が揃って練習できる日程は例年に比べ少なかったです。そんな中、各学年で団結して作り上げた合唱を歌い、聞き合うことができました。普段なかなか触れられない音楽なども聞くことができとても良い体験になったと思います。

今年のスローガン「No sing No life ～私達の魂を込めた歌たち～」は、皆の歌がホールに響いてくれることを願って決めました。とても良い、最高の合唱コンクールを作り上げられ、実行委員長としてとても嬉しかったです。(3年)

3年生

一年生の時から目指していた金賞。今までは銀賞という悔しい結果でしたが、今年ついに金賞を取ることができました。金賞を取ることができたのは今までの練習を頑張ってきたからです。私のクラスは女子と男子の人数の差が大きく、バランスを整えることに苦戦していました。放課後に曲責で集まり歌うときのポイントやどういった練習内容にするのかを話し合いながらクラス練習を進めていきました。そして本番当日は今までの練習の成果を存分に発揮することができました。金賞と発表されたときのクラスのみなの笑顔と、あのホールに響かせた27名の歌声は宝物として、私の心の中にいつまでも残っています。(3年)

2年生

2年A組のスローガンは、「歌楽反応君の心に Revolution」です。指揮者として常に合唱を前で見ていると感じたことは、息の長さがバラバラだったことです。合唱練習の中で毎回課題点を見つけて、共有し、それぞれのパートでも練習を重ねました。練習を繰り返していくうちに課題点も減っていき、息の長さも揃うようになり、合唱自体のクオリティも良くなっていきました。当日練習では、指揮が早くなってしまっなど少しハプニングもありましたが、本番では歌楽反応を起こすことができ、目標であった金賞を取ることができました。(2年)

1年生

1年生はクラス目標にある「心に響くぼうけ声」をみんなに届けること、そして金賞を取ることを目標に練習してきました。練習ではみんな意見を出し合い、より良い合唱を目指しました。私は初めて合唱での伴奏を担当し、本番やりハーサルではとても緊張しました。この貴重な経験を他の場面でも生かしたいです。1年生の結果は銀賞でしたが、先生や友達と悔しい気持ちを共にしたので、その思いを来年に繋げ、金賞を取りたいです。(1年)

12月の主な予定

12月 1日(金) 登校指導 劇団かぶつ、体力向上	13日(水) 全校道徳 委員会
3日(日) P連卓球大会	14日(木) 研修会
4日(月) 学校朝礼 三者面談(始)	18日(月) 生徒会朝礼 体力向上
6日(水) 職員会議	20日(水) 職員会議
8日(金) 体力向上	22日(金) 学年集会(各学年)
11日(月) 体力向上	大掃除
12日(火) 三者面談(終)	25日(月) 終業式
	26日(火) 冬季休業日(始)